

①八女市のフクロウ

*6月14日 フクロウ・八女市

八女市の神社に行ってみました。雛は、ちゃんと元気にしていました。近所の人の話だと、最初に親だと思っていた2羽のうち、1羽は1週間前に生まれたヒナが大きくなり、見た感じが親と変わらないとのことでした。

KT



▲フクロウの親 撮影：KT

*6月16日 フクロウ・八女市

数名の方と一緒にフクロウを探しに行きました。探し始めて5分位で、Iさんが高さ15m位の奥の枝に2羽止まっているのを発見出来ました。近所の方が言っておりましたが、フクロウ幼鳥が地上近くに降りて手の届く所にいる事もあるそうです。岡本 正



▲フクロウのヒナ 撮影：岡本 正

②久留米市田主丸のタマシギなど

*6月18日 ヒクイナ、タマシギ・田主丸町益生田

6月に入って、家の近くの田んぼもようやく田植えが始まり水が入りました。田んぼ道の真ん中にヒクイナが出でていました。苗はまだ短くて、ヒクイナを見ることができたので、用を済ませてカメラを取りに自宅に戻り、その田んぼに行ってみました。ヒクイナは居なくなつて、その代わり(?)にタマシギのメスが隠れていきました。ここでタマシギを見たのは初めてです。池長裕史

*6月21日 タマシギ・田主丸町益生田

日が長くなつたので遅い時間でも明るくて、そんな中で鳴いてくれました。池長裕史



▲鳴くタマシギのメス 撮影・録音：池長裕史

※このタマシギの声は「まめわり通信」のサイトで聞くことができます。

<http://grosbeak.blog.fc2.com/blog-entry-164.html>

*6月22日 ヒクイナ、バン、サギ類・田主丸町益生田

タマシギを探しながら家の周りの田んぼを見て回りました。池長裕史



▲ダイサギ（左写真）とコサギ（右写真） 撮影：池長裕史

*6月29日 タマシギ・田主丸町益生田

田主丸でタマシギの観察を始めてもう2週間ほどになりますが、ヒナが孵るにはあと1週間は待たないといけないでしょうね。KT



▲水田に営巣中のタマシギの雄 撮影：KT

*7月2日 タマシギ、バン・田主丸町益生田

タマシギのメスはいなくなつてから4、5日経ちますが、姿が見えません。一度声が西側の方から聞こえたので、一帯の田んぼを出来る限り探してみましたが、ダメでした。その時にバンの営巣中ののを見つけました。KT



▲水田に営巣中のバン 撮影：KT

*7月1日 タマシギ、ヒクイナ・田主丸益生田

タマシギの観察を行っている田主丸益生田には、ヒクイナもしょっちゅう現れます。飛んできて、河川や田んぼに着地します。神経質なのが素早く、歩くのがとても速いです。KT



▲水田を歩くヒクイナ 撮影：KT

*7月4日 タマシギ・田主丸町古川朝森

4日夜、我が家に帰る途中に寄り道して、去年タマシギをみた田主丸の古川朝森方面を車で流していくと、タマシギの「コーッ、コーッ」と鳴く声が4~5回聞こえてきました。今年は遅いのでどうしたのかなと心配していましたが、どうやら田んぼに水が入ったので出てきたのだなと思われます。KT

*7月6日 田主丸町益生田のタマシギ

おとといの7/4（木）は夕方の5時過ぎから7時半ころまで観察しました。
最初巣は見つけにくかったのですが、オスが歩いているのを見つけて、それで巣も分かりました。
わずか2時間ばかりの間に、10分弱くらいですが4回も歩き回っていました。
それなのに昨日5日（金）は巣もオスの姿も全く見えませんでした。KT

*7月8日 田主丸町益生田のタマシギ

タマシギの観察を続けていたのですが、6日（土）と8日（月）と見に行きましたが、やはりオスも巣も無くなっていました。6日に田んぼの持ち主があぜ道の草刈りをされていたので、草取り中にきっと気づかれて、巣は処分されてしまったのではないかと思います。
残念です😢 KT

※この場所でのタマシギの営巣は6月27日から7月4日までだったようです。

③その他の鳥信

*7月1日 部分白化スズメ・田主丸町中尾

昨年、田主丸町中尾で観察していた部分白化のスズメは健在でした。スズメの営巣場所になっている家の方にお伺いしました。「2年ほど前から居るよう思う」とのことでした。他に白い部分のある個体がないか観察しましたが、ここにはこの1羽だけのようです。池長裕史



▲スズメ（部分白化個体） 撮影：池長裕史

*6月12日 日向神ダムのブッポウソウ

いつもの電線に単独で止まり、昨年まで毎年聞いていた餌乞い鳴き（♀個体か？）を時々し、きょろきょろと周りを見て連れ合いを探しているようでした。時々飛びたっては採餌。昨年まで営巣していた鉄橋の穴へ、4時間観察していた間に4回出入りしました。津田堅之介



▲西園橋のハンドホールから顔を出すブッポウソウ 撮影：津田堅之介

*6月16日 ミサゴ・日向神ダム

ミサゴが日向神ダム側・高い崖の上で、ヒナへ餌やり行動しているのを見ました。あんなに高い崖の上で、雨風は強い所だろうに、枯れ枝を集め丈夫な巣を作り、親は一羽のヒナの為に、餌やりに一生懸命です。

岡本 正



▲ミサゴの巣 撮影：西本幸久

*6月17日 ササゴイ・筑後市山の井川

今日 ササゴイの写真を撮りました。観察中に、これで4匹でした。石橋



▲ササゴイ 撮影：石橋

*6月20日 コアジサシ・筑後市

今、筑後広域公園内の八幡神社西側の池でコアジサシが飛び交っています。6/12に2羽を初めて確認、今日は10羽近くを確認しました。水面に飛び込んで、小魚を捕食しています。Mt. Sige



▲コアジサシ 撮影：Mt. Sige

*7月5日 大授湯のシギ・チドリ

約50羽程のダイゼンの中にオバシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、ダイシャク・ホウロクシギがいました。早くから来られていた佐賀県支部の方によると「他に、コオバシギ、ツルシギ、ムナグロ等が数羽～数10羽単位で来ています。夏の大潮時は、シギ・チの「宝探し」をしているようで、意外と楽しいですよ。Mt. Sige



▲オバシギ 撮影：Mt. Sige

*7月6日 カラシラサギ・大授搦

満潮直前には、一番期待していた「カラシラサギ」が、コンクリ・フェンスに止まっている4羽のダイサギの間に、ふわりと飛んで来てくれました。Mt. Sige



▲カラシラサギ 撮影：Mt. Sige

*8月1日 大授搦(東よか干潟)

この日は、猛暑。ダイゼン約70羽、ハマシギ約500羽、アオアシシギ約100羽、ダイシャクシギ約15羽、ホウロクシギ10羽、他、キアシシギ、ソリハシシギ等がいました。Mt. Sige



▲ダイゼンとオオソリハシシギ 撮影：Mt. Sige

*8月5日 大授搦(東よか干潟)

一昨日は、ハマシギの群れの中にウズラシギが1羽確認しました。今日は、ダイシャクシギ、ホウロクシギ(合わせて35羽程)の中にチュウシャクシギ1羽を発見しました。ダイゼンの群れの中にもムナグロもいました。他に、アオアシシギ、コアオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、オバシギ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、トオネン、シロチドリ。Mt. Sige



▲ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ 撮影：Mt. Sige



▲メダイチドリとオオメダイチドリ 撮影：Mt. Sige

*7月11日 アオバズク、ヤマセミ・佐賀

佐賀のアオバズクです。今回はちゃんといつもの樹に元気に止まっていました。KT



▲アオバズク 撮影: KT

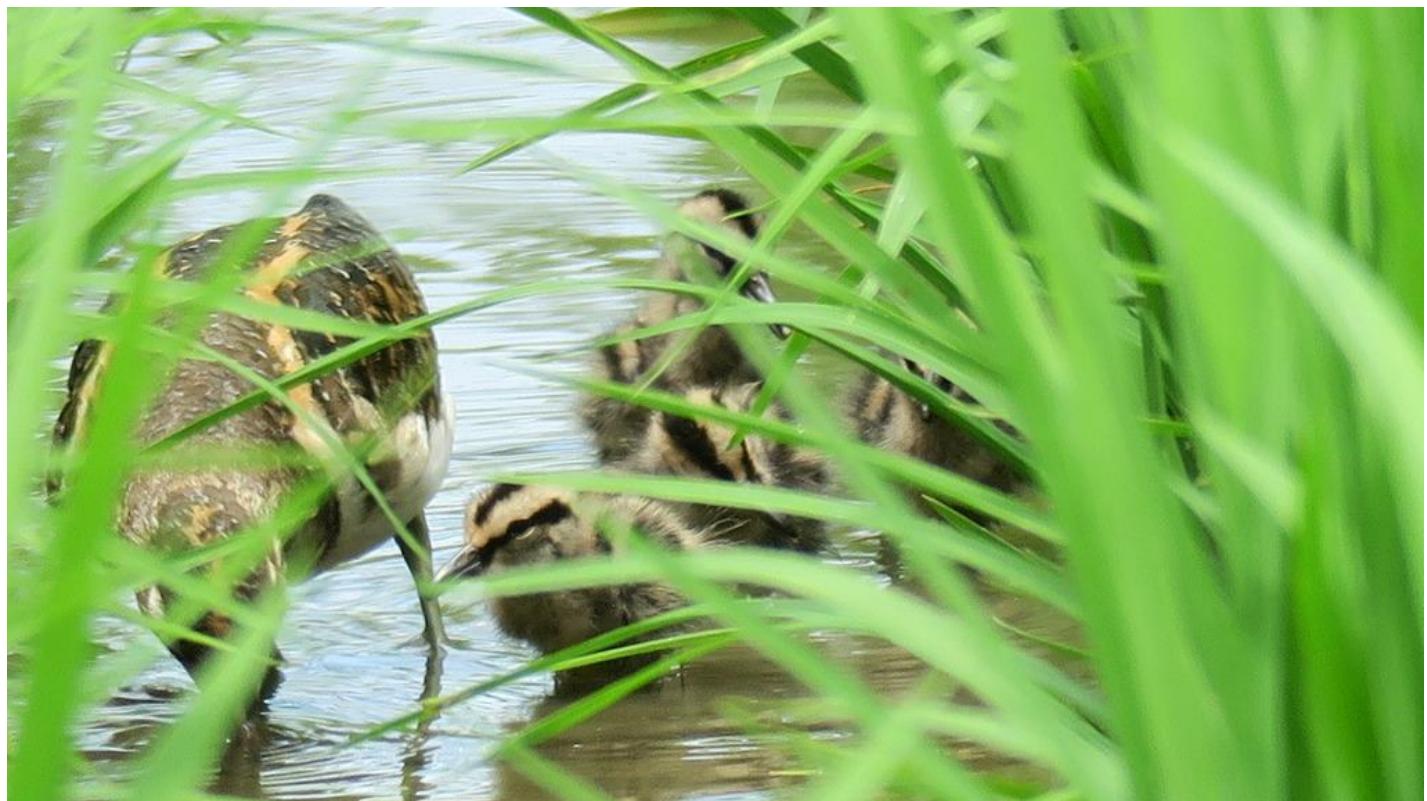
筑後地域外の鳥信

*6月12日 タマシギ・宮若市

宮若市にタマシギを見に行ってみました。まだ早いだろうとおもっていましたら、いつもの田んぼに番でいました。KT

*7月30日 タマシギ・宮若市

益生田のタマシギオスの抱卵は途中で消滅してしまいましたが、宮若市のタマシギは雛も無事に孵り、4~5羽を引き連れて田んぼの中を餌探しと育雛に余念がないようです。KT



▲タマシギのオスとヒナ 撮影: KT

*6月25日 アカショウビン・宮崎県御池

辺りが少しずつ明るくなつた頃、アカショウビンの心地よい鳴き声が聞こえて来ました。待つこと約3時間半、目の前の枝にその紅の姿が、その姿を見て大興奮、林の中が明るくなると、オオルリ、キビタキ、サンコウチヨウの鳴き声も聞こえました。Mt. Sige

*7月7日 サンコウチョウ・鞍手町

鞍手町の公園に行くとサンコウチョウが鳴いていました。1羽のオスが車道の両側の樹から樹へ飛んでいきました。後1羽は樹林帯の中で枝に止まろうとしたのですが、私に気づきふわりと飛び去っていきました。ここには3組のサンコウチョウがいるそうです。KT

*7月10日 サンコウチョウ・鞍手町

着いて耳を澄ますとサンコウチョウの声も聞こえてきます。さて、ここではヤマガラ、カワラヒワ、ツバメ、ヒヨ、メジロ、ソウシチョウなどもいましたが、メインのサンコウチョウをやっと撮ることが出来ました。KT



▲サンコウチョウ 撮影: KT



▲アカショウビン 撮影: Mt. Sige

*7月27日 ヤマセミなど・熊本県菊池川白石堰

アオサギ、ゴイサギ、ササゴイなどの他ヤマセミ3羽が飛んでいました。ヤマセミは幼鳥のようで、警戒心があまりなく、飛び込みの練習をしていました。岡本 正



▲ヤマセミ 撮影: 岡本 正